

シルヴェスター・ガラ・コンサート Silvester 2021 Gala Concert

ヘンデル：

「水上の音楽」より

第11曲、第12曲“アラ・ホーンパイプ”

歌劇「リナルド」より“涙の流れるままに”♥

“プレリュード” “デュエット” (アルミダ&アルガンテ) ♥♣ ほか

【指揮・チェンバロ】
鈴木 優人

Masato Suzuki
Conductor & Harpsichord

【ソプラノ】森 麻季 ♥

【バリトン】大西宇宙 ♣

© Carl Thorborg

【演出振付・ダンス】
小尻健太

© Joris Jan Bos

【ダンス】
鳴海令那

© Marco Borggreve

ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
[with Dance]

プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より
“私が街を歩けば” (ムゼッタのワルツ) ♥

レハール：喜歌劇「微笑みの国」より
“君はわが心のすべて” ♣

【管弦楽】兵庫芸術文化センター管弦楽団

J. シュトラウスⅡ世：「ピチカート・ポルカ」「雷鳴と電光」 ほか

2021 12/31 (金) 3:00PM 開演 (2:00PM 開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口ログ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 D 2,000円 (全席指定/税込)

※未就学児童はご入場いただけません。

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)



兵庫県立
芸術文化センター

文化力
POWER OF
CULTURE

発売日 9/11	チケット 取扱	●芸術文化センター 0798-68-0255 http://www.gcenter-hyogo.jp 芸術文化センター2階総合カウンター【9/12(日)より、残席がある場合のみ】 ●チケットぴあ http://pia.jp/t/ ●ローソンチケット http://l-tike.com ●イープラス http://eplus.jp
-------------	------------	---

<チケットご購入のお客様へお願い> 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売する場合があります。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合ください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 特別協賛：アサヒグループホールディングス株式会社 レジデンス協力：Dance Base Yokohama

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認いただけますようお願いいたします



響きあう 音と身体 新しい世界へ

はじめての方も安心!
字幕つき

音楽と言葉が一体となって、皆さんを心躍るひとときへ誘います。
本コンサートは原語(イタリア語、ドイツ語)で歌唱しますが
日本語字幕がつきます。

毎年恒例、大晦日の特別コンサート。今年はバロックから現代作品まで八面六臂の活躍で大躍進中の、若くして日本の音楽界を牽引する存在となった鈴木優人を指揮者に迎え、豪華ゲストとの夢の協演をお届けします。前半はヘンデルの作品を中心に、森麻季の透き通るような歌声と、芸文初登場となる大西宇宙の瑞々しく豊潤な表現によって、皆さまをバロック音楽の世界へ誘います。

後半は、今年が没後50周年にあたる、ストラヴィンスキーの代表作「火の鳥」を国内外のダンスシーンの第一線で活躍する小尻健太の振付によるダンスパフォーマンスとのコラボレーションでお届けします。色彩豊かな音楽と、磨き抜かれた身体表現との融合をどうぞご期待ください。もちろんこれを聴かないと年を越せない、心躍るワルツ&ポルカの名曲もたっぷり。どうぞ、大晦日は劇場でお過ごしください!



ジルヴェスター・コンサート2020「魅惑のオペレッタ・ガラ」より

鈴木優人 (指揮・チェンバロ)

Masato Suzuki, Conductor & Harpsichord

東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。2017、2020年には鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズを制作、上演。モンテヴェルディ: 歌劇「ポッペアの戴冠」(2017)、ヘンデル: 歌劇「リナルド」(2020)はバロック・オペラの新機軸として高く評価されるとともに多くの話題を呼んだ。メディアへの露出も多く、NHK-FM「古楽の楽しみ」レギュラー、テレビ朝日「題名のない音楽会」にもゲストとして度々出演している。録音はハルモニウム・ディよりアントワン・タメスティ(ヴィオラ)との新譜をリリース(2019)。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各方面から大きな期待が寄せられている。



© Marco Borggreve

森 麻季 (ソプラノ) Maki Mori, Soprano

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、留学。ドミンゴ世界オペラコンクールの入賞を機に、ワシントン・ナショナル・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、トリノ王立歌劇場等に出演を重ねて、国際的な評価を得る。人気実力共に兼ね備え、日本の音楽界を牽引するオペラ歌手。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。
https://twitter.com/makimori_sop



© Yuji Hori

大西宇宙 (バリトン) Takaoki Onishi, Baritone

ジュリアード音楽院卒業。シカゴ・リリック歌劇場で研鑽。ルイージ指揮『エフゲニー・オネーギン』、P.ヤルヴィ指揮『N響』『フィデリオ』、原田慶太指揮NCO(米国)「道化師」、鈴木優人指揮 BCJ「リナルド」、沼尻竜典指揮びわ湖ホール「ローエングリン」等に出演。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞。



© Simon Pauly

小尻健太 (演出振付・ダンス) Kenta Kojiri, Choreography & Dance

ダンサー・振付家、Dance Base Yokohama ダンスエバンジェリスト。1999年ローザンヌ国際バレエコンクール受賞。ネザール・ダンス・シアターIIに日本人男性として初めて入団。退団後、スウェーデン王立バレエ団、Noism、シルヴィ・ギエム「6000 Miles Away」、キリアンプロダクションに客演する一方、ソロパフォーマンス『Study for Self/portrait』(17年原美術館)など創作を軸に活動を展開。近年は、渡辺レイラとOptoを主宰するほか、フィギュアスケート日本代表選手の表現指導、さいたまダンス・ラボラトリ(彩の国さいたま芸術劇場)の講師/ナビゲーターを務める。



© Carl Thorborg

鳴海令那 (ダンス) Rena Narumi, Dance

3歳からクラシックバレエを始め、15歳よりフランス、カナダでバレエ、コンテンポラリーダンスを学ぶ。これまでにクリスタル・バイト率いるKidd Pivot(キッド・ピボット)、ドイツウィースバデン州立劇場、スウェーデン王立バレエ団、ネザール・ダンス・シアターに所属し、世界で活躍する振付家の作品に多く出演。代表作は、マッツ・エック版『Juliet & Romeo』ジュリエット役、クリスタル・バイト『The Statement』、オハッド・ナハリ『The Hole』ほか。2014年におこなわれたノーベル賞晩餐会で、ダンサー・児玉北斗とのデュエットも披露する。現在はフリーのダンサーとしてKidd Pivotを拠点に活動している。



© Joris Jan Bos

兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ないシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会、名曲等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生対象の「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督オペラでの演奏など、多彩な活動を展開。通称PAC(バック)オーケストラ。 <http://hpac-orc.jp>



照明: 稲葉直人(A.S.G.) 音楽スタッフ: 根本卓也 コーディネート(ダンス): 唐津絵理

森を守ることは、未来をつくること。

アサヒグループが守り、育む森

社員自らの手で育てている「アサヒの森」は、アサヒグループが1941年から保有する社有林です。管理面積は、2020年末に2,467haへと拡大。森を守ることで、自然の恵みを未来へとつなげています。



アサヒの森 Since 1941



広島県庄原市と三次市に広がるアサヒの森

アサヒグループホールディングス株式会社

Asahi